

5 学習適応検査(AAI)の結果から



小学校 第4学年

1 学習意欲

- 授業で出された宿題を早くやるようにしている児童は、全国よりやや多い傾向がみられます。今後も、学校で学習した勉強をドリルで復習するなど家庭学習にも意欲を出してがんばりましょう。

2 計画性

- 家の人と将来の夢や希望について話し合う機会や勉強のことで相談する機会については、全国より多い傾向がみられます。家庭学習においては、自分で学習の目標を立て、時間を決めて計画的に勉強していきましょう。

3 登校意欲

- 学校に行くのは楽しいと思っている児童は、全国より多い傾向がみられます。いじめのない楽しい学校生活が送れるようにしましょう。

4 学習の目的

- 学習の目的として「大人になって役に立つから」「よい成績をとりたいから」「家の人にほめられたいから」と考えている児童は、全国より多い傾向がみられます。今、何のために勉強しているのかをしっかりと考え、自分の力を伸ばしていきましょう。

5 つづける力

- 学習に対して友達と励ましあったり、競争してがんばる児童は、全国より多い傾向がみられます。難しい問題にぶつかっても、あきらめず一生懸命勉強していきましょう。



中学校 第1学年

1 学習意欲

- 授業中はいつも集中して学習している生徒は、全国より多い傾向がみられます。また、家の人勉強していると励ましてくれると回答した生徒も、全国よりやや多い傾向がみられます。得意分野には自信をもって学習を進めるとともに、苦手な勉強をなくすように努力したり、もっといろいろなことを知りたいという気持ちをもって勉強に取り組みましょう。

2 計画性

- 学期末やまとめテストの時には、計画を立てて準備する生徒は、全国よりやや多い傾向がみられます。家庭において、勉強の時間と自由な時間を計画的に位置づけたり、予習や復習への取り組みを習慣化していきましょう。

3 学習の目的

- 学習の目的として「希望する学校に進みたいから」「大人になって役にたつから」「テストでよい成績をとりたいから」と考えている生徒は、全国より多い傾向がみられます。問題が解けたときの楽しさを感じると、より一層、自分の力を伸ばしていけると思います。

4 授業の受け方

- 授業中はいつも集中しているという生徒は、全国より多い傾向がみられます。授業中のノートを分かりやすく取って、家庭学習においてもノートを活用して復習するとよいでしょう。

5 自分をふりかえる力

- 自分の行動に対して「あまりふり返って考えない」と考えている生徒が多い傾向にありますので、特に、テストの返却時には、得点だけでなく間違っている場所を調べ、分からないところはそのままにせずに積極的に先生や友達に聞いて解決していきましょう。